

中京短期大学との協働により、「マコモタケ」の特産品化に向けた調査研究を実施

<岐阜県>

1. 市町村・集落の名称	瑞浪市 釜戸町平山地区
2. 協働の相手（企業や大学等）の名称	中京短期大学（健康栄養学科）
3. 仲介者・コーディネーターの名称	瑞浪市役所農林課
4. 協働のポイント	瑞浪市の特産品として開発中のマコモタケについて、地元短期大学と連携して、調理レシピの開発など新しい利用方法について研究に取り組み、販路の拡大を図る。一方で地元小学校とも連携し、栽培から調理までの体験活動を大学生とともに行うことで、大学ならびに小学校での食育を進める。
5. 協働のきっかけ・経緯	瑞浪市農林課で、マコモタケの栄養価や調理方法について、地元にある短大の健康栄養学科の教授に相談したことがきっかけ。
6. 取組の具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年に中京短大とマコモタケの調査研究の連携に関する協定を締結し、料理方法等の開発をおこなう。 ・「農林水産省 教育ファーム推進事業」にて、短期大学と連携し、マコモタケの栽培、調理をとおして大学生ならびに地元小学校の食育をおこなう。
7. 農村地域への効果	マコモタケの販路拡大に向けた、新しい調理方法の開発。
8. 都市部の主体（企業や大学等）への効果	食農教育の実践フィールドの確保
9. 仲介者等の役割	締結文書の作成支援、事業導入の指導
10. 今後の課題	マコモタケの生産拡大と販路開拓
11. 関連事業（国・都道府県等）	教育ファーム推進事業